MODULE 05

JAMBER AI の製品構造と安全な拘束解除

RE:CORE ACADEMY オンライン事前研修

製品設計・形状回復・安全な分離

拘束解除と弾性回復

CONSTRAINED STATE

拘束状態

カニューレに装着されたスプリングは、伸長または圧縮状態を維持します。

RELEASE

拘束解除

ハブテールを取り外して拘束を解除すると、蓄積された弾性力が作用します。

ELASTIC RECOVERY

弾性回復

周囲組織の抵抗下で、設計形状へ向かう復元力が作用します。

拘束解除は、直ちに自由状態へ戻る瞬間ではなく、
組織の抵抗下で設計形状へ向かう復元力が働き始める段階です。

このモジュールを終えると、４つの要点を区別できます。

01　製品の識別

EX、M・M-line、G、Cの製品群と作動モードを区別します。

02　拘束状態

伸長・圧縮・抵抗・区間別の活性構造を理解します。

03　分離の手順

ハブテールの取り外しと、スプリング・カニューレの分離方法を学びます。

04　解除後の確認

長さ・外径・活性区間の変化を、組織の抵抗と併せて確認します。

1つのプラットフォームで、部位ごとに異なる機械的応答を設計します。

JAMBER AI

Stored Mechanical Force

TENSILE RECOVERY	JAMBER Ex	中顔面・下顔面
COMPRESSIVE RECOVERY	JAMBER M	深部頬部・マリオネットライン
RESISTANCE SPRING	JAMBER G	眉間
LOCAL EXTENSION	JAMBER C	鼻下の横じわ

3 つの問いで製品を理解します

RELEASE GEOMETRY

解除後、長さは短くなろうとするか、長くなろうとするか？

TISSUE FUNCTION

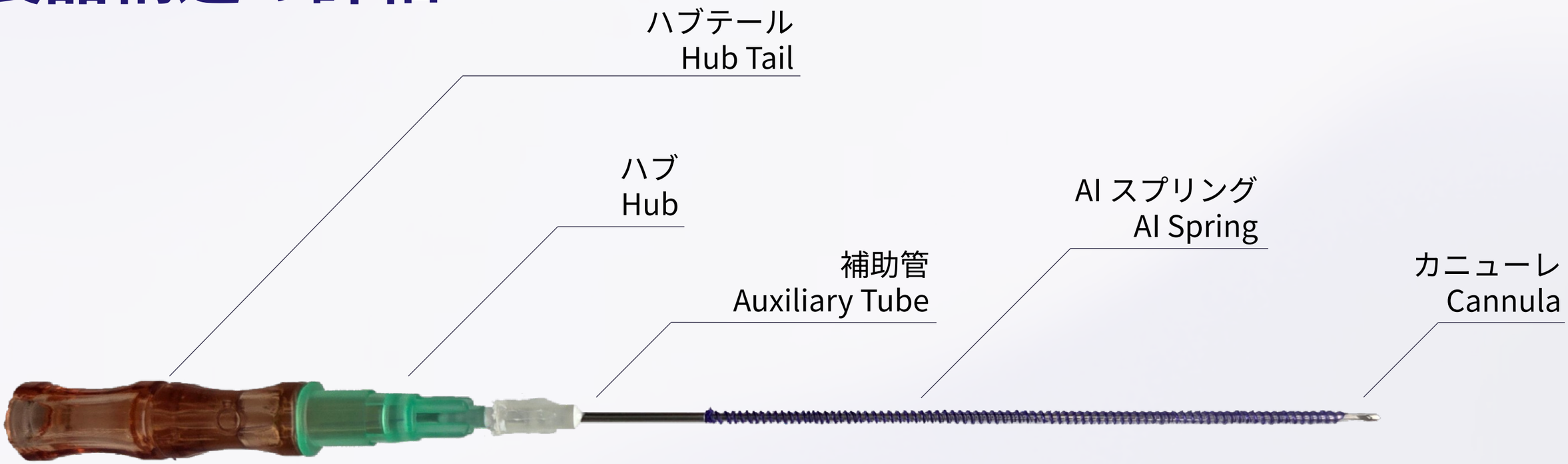
組織内では主に引くのか、押すのか、抵抗するのか？

FORCE DISTRIBUTION

力は全体に均一か、特定の区間に集中するか？

同じ伸長回復型でも、組織内での役割と活性区間は異なる場合があります。

製品構造の詳細



ハブテールの取り外しとカニューレの抜去（ハブの取り外し）は、別の段階です。

拘束前後の形状変化と組織内での役割

製品群	拘束状態	解除後の変化	組織内での役割
JAMBER EX 製品群	軸方向の伸長	長さ減少／外径増大	組織を集めて支持する引張回復
JAMBER M 製品群	軸方向の圧縮	長さ増加／外径減少	軸方向の回復で押して支持／区間別の活性化が可能
JAMBER G 製品群	圧縮拘束	長さがわずかに増加	表情筋の動きに対する弾性抵抗
JAMBER C 製品群	圧縮拘束	長さ増加／局所的な形状展開	局所構造を押して支持

本研修では 4 つの承認製品群を扱います

製品群	ブロシュア・紹介資料に記載の対象部位
JAMBER EX 製品群	下顔面／中顔面
JAMBER M 製品群	深部頬部・マリオネットライン
JAMBER G 製品群	眉間
JAMBER C 製品群	鼻下の横じわ

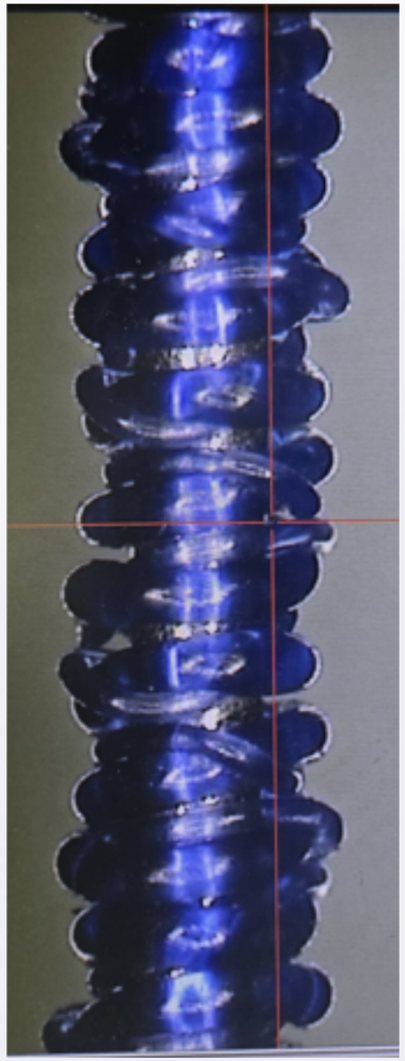
製品確認、拘束状態の理解、製品群に応じた分離、解除後の確認の順に学びます。

JAMBER AI EX 製品群

伸長拘束型・収縮回復

TENSILE RECOVERY

拘束解除後、長さが減少し、外径が増大します。



JAMBER AI EX 製品仕様

モデル	YCB21090T40JX-65	YCB23070T40JX-46
対象部位	下顔面	中顔面
カニューレ	21G 90 mm B-type	23G 70 mm B-type
糸の規格	4-0 & 6-0	4-0 & 6-0
拘束前のスプリング長	65 mm	46 mm

今後、モデルが追加される場合があります。

EX の拘束状態と解除後の回復

CONSTRAINED

RELEASED

LENGTH ↓　OUTER DIAMETER ↑

収縮方向への弾性回復

体外で観察される長さ・外径の変化と、組織の抵抗下で作用する復元力を区別して説明します。

拘束解除と分離の手順

1

位置の設定

伸長・拘束されたスプリングの状態を確認し、挿入位置を決めます。

2

製品の挿入

目標層に挿入した後、組織との機械的結合に備えます。

3

ハブテールの取り外し

ハブテールを引いて拘束を解除し、２本の糸を確認します。
EX は蓄積された弾性力によって収縮します。

4

カニューレの抜去

施術部位の始点・中間・終点を押さえながら、ハブを時計回りに２～３回転させます。
補助管を固定し、ハブを引いてカニューレを抜去します。

neoDr

スプリングとカニューレの分離動画

JAMBER AI M Family

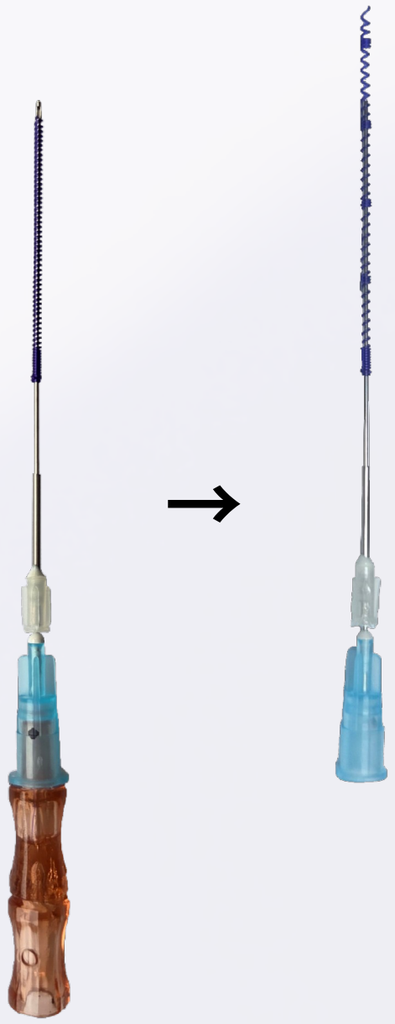
圧縮拘束型・伸長および区間別の回復

M・M-line・G・C

解除後の長さの変化と活性区間を、製品ごとに区別します。

JAMBER AI M 製品仕様

モデル	YCB23070T30JM-35
対象部位	深部頬部
カニューレ	23G 70 mm B-type
糸の規格	3-0
拘束前のスプリング長	35 mm

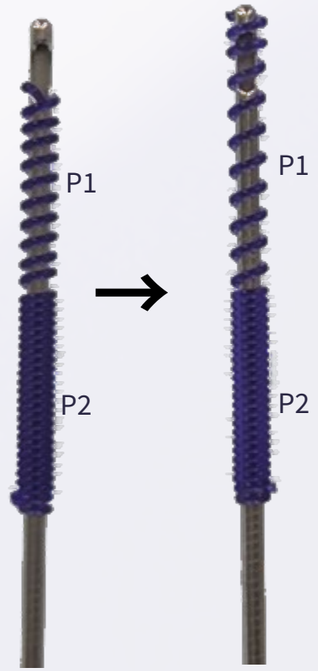


長さ増加・外径減少

圧縮弾性の復元力で下から上へ押し上げて支持

JAMBER AI M-line 製品仕様

モデル	YCB23060T40JM-12
対象部位	マリオネットライン
カニューレ	23G 60 mm B-type
糸の規格	4-0
拘束前のスプリング長	P1: 6 mm / P2: 6 mm



長さ増加・外径減少　　P1 区間は伸長、 P2 区間は維持

JAMBER AI G 製品仕様

モデル	YCB23060T30JG-30	YCB25060T40JG-30
対象部位	眉間	眉間
カニューレ	23G 60 mm B-type	25G 60 mm B-type
糸の規格	3-0	4-0
拘束前のスプリング長	30 mm	30 mm

拘束解除後にわずかに伸長し、表情筋の反復運動に弾性抵抗を与えるよう設計されています。

JAMBER AI G の配置と組織内機能

配置段階

拘束解除後にわずかに伸長

スプリングの長さの変化を観察します。

機能段階

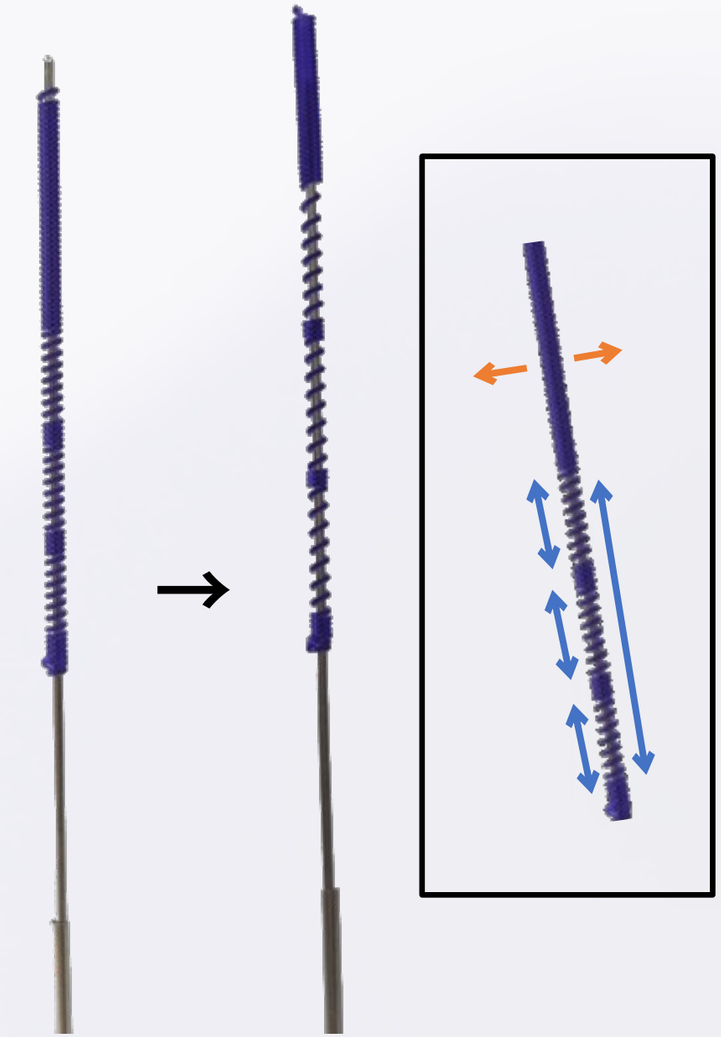
反復運動に対する弾性抵抗

表情筋の反復運動に対して
弾性抵抗を与えるよう設計されています。

配置段階の形状変化と、組織内での機能を区別して説明します。

JAMBER AI C 製品仕様

モデル	YCB23060T30JC-33	YCB25060T40JC-33
対象部位	鼻下の横じわ	鼻下の横じわ
カニューレ	23G 60 mm B-type	25G 60 mm B-type
糸の規格	3-0	4-0
拘束前のスプリング長	33 mm	33 mm



拘束解除後に長さが増加し、局所的な形状展開と構造的支持を促すよう設計されています。

モデル名の読み方

YCB23070T30JM-35

コード例	意味	読み方の例
YCB	カニューレの種類	Cannula B-type
23	カニューレの太さ	23G カニューレ
070	カニューレの長さ	長さ 60 mm のカニューレ
T	一次包装の区分	タイベック（ Tyvek ）
40	糸の規格	USP 4-0 規格の PDO
JM	設計・製品群	JAMBER AI M
35	スプリングの設計長	拘束前の長さ 35 mm

製品群コード：
JX = JAMBER AI Ex / JM = JAMBER AI M / JG = JAMBER AI G / JC = JAMBER AI C

CORRECT RELEASE COMPLETES THE DESIGN

製品を識別し、拘束状態を理解し、分離方法を確実に習得することが重要です。

製品の識別

まずモデル名と製品群を確認します。

拘束状態

伸長・圧縮状態と活性区間を区別します。

分離の手順

ハブテールの取り外しとカニューレの抜去を別の段階として理解します。

解除後の確認

形状変化と周囲組織の抵抗を併せて確認します。